

歌声、ホールに響いた 文化発表会！

8日(水)練馬文化センターで文化発表会がありました。中学校生活最後の合唱コンクールは、どうだったでしょうか？私は、久しぶりに客席から、合唱を聴くことができ、とても感動しました。学年合唱は、ここ数年行われていませんでしたが、全体の合唱、迫力があり、次に続くクラスの発表が楽しみにになりました。そして、クラスの発表。どのクラスも今までで最高の合唱がホールに響き渡り素晴らしかったです。クラスをここまで引っ張ってくれた文化行事委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーお疲れ様でした。自宅や放課後遅くまで残って、めくりプログラムを書いてくれたさん、さん、さん、さん、ありがとう。ホール全体に一人ひとりの気持ちが伝わった、響き渡った歌声、感動をありがとう。

国語の主張発表会①

27日(月)体育館で、主張発表会がありました。国語の授業の「説得力のある構成を考えよう」という単元で、1学期から準備してきたものです。先週の授業内で各クラスの代表を決め、クラス代表による発表を全体で実施しました。構成に限らず、使う言葉の表現や聞き手の反応を見ながら話すなど、さまざまな工夫が見られる発表でした。代表生徒だけでなく、どの発表も主張が分かりやすく素晴らしいものになりました。代表の発表を紹介します。

芸術は美しくあるべきだ

3年C組

芸術というものを何と定義するかにもよりますが、芸術を単なる絵で何かを表現するものとした場合、芸術の始まりはインドネシアの洞窟壁画の45500年前までさかのぼります。そして今現在、この世界には画像生成AIや音楽や曲を生成するAIなど45500年前にはなかったものが存在しています。そこで私は思いました。AIで作った絵や音楽表現が芸術だと言えるのでしょうか。私は違うと思います。芸術は、人それぞれ

の心の中にそれぞれの解釈によって存在しています。私の中の芸術とは、心がこもっている感情を感じられるものが芸術だと思っています。ただ綺麗とか美しいとかで表せないものです。かの有名なゴッホは精神病を患っていました。彼は27歳で画家になり、37歳で死ぬ10年間で2000点以上の作品を作りました。生前に売れた作品は一つ、「赤いぶどう畑」という作品だけです。彼は絵を描くことを職業としていたにも関わらず、1つだけしか売れませんでした。そこで僕はこう考えました。精神病を患っていた彼にとって絵は労働だった。普通に働くことができなかったのだと。しかし、絵を描くことだけできた彼にとって芸術は癒しでもあったということです。ジャン＝フランソワ・ミレーのこの「落穂拾い」という絵をどう思いますか。そう、これは農業を営んでいるわけではなく、この当時のフランスの貧困に苦しんでいる人々を書き表しているのです。彼にとっての芸術は単なる絵ではなく、当時の情勢を伝える表現の一つとして芸術を使っていたのかもしれない。「モナリザ」や「真珠の耳飾りの少女」、ピカソの「ゲルニカ」など、このような有名な画家の作品は、時を超えて今もこの現代に知れ渡っているけれどどうだろう、他にもたくさん画家たちが今まで存在していたはずだ。今現在バンクシーや村上隆などのアーティストなどもいるが他のアーティストの名前も100年、500年後の人類も名前を耳にするだろうか。こうやって何世紀も前から残っている作品は必ず作品に込められた意味や思いなどが彼らのようにあったはずです。そう人の思いの表現ということこそ芸術の始まりだった。今や芸術は利益としての道具にしか使われていないような気がします。私は絵が上手いわけでも音楽ができるわけでもありません。ただ芸術が、何をどのような歴史をたどってきたのかを知ってほしいのです。戦後の世界が、芸術の既存の概念、デッサンや音楽だけが芸術であることを壊したという過去。芸術にはたくさんの人の思いと平和があることを知ってほしいのです。これからの芸術は、利益のためのためではなく感動するためにやってほしい。芸術はもっと美しくあるべきだと思います。

修学旅行の返金について

修学旅行の決算ができました。73,000円-72,128円=872円になります。振込手数料として、66円を差し引いた金額806円をゆうちょ銀行口座に振り込ませていただきます。手続き上、12月以降の振込になります。